

「情報公開文書」

受付番号 : 5324

課題名 : PTSD に対する心理療法および薬物療法の効果と作用機序に関する二次解析研究

1. 研究の対象

(1) 2012年7月～2017年9月に実施した研究（外傷後ストレス障害に対する認知処理療法の実施可能性および有効性に関する研究 A2012-074。研究責任者：国立精神・神経医療研究センター 堀越勝）に参加された方。

(2) 2016年3月から開始し2026年3月まで実施予定の研究（心的外傷後ストレス障害に対する認知処理療法の有効性に関するランダム化比較試験（SPINET）研究 2015-111 と A2021-015 責任者：国立精神・神経医療研究センター 伊藤正哉）に2025年12月までに参加された方。

(3) 1998年4月～2025年10月に兵庫教育大学大学院の認定 EMDR（Eye Movement Desensitization and Reprocessing：眼球運動による脱感作と再処理法）トレーニングを受けた臨床心理士による EMDR の治療を受けた方。

2. 研究期間

2026年3月（研究実施許可日）～2030年3月

3. 情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日：2026年5月1日

提供開始予定日：2026年5月1日

4. 研究目的この研究の目的は、心の傷（トラウマ）によって起こる心的外傷後ストレス障害（PTSD）の治療を、より効果的に行う方法を明らかにすることです。

これまでに行われてきた治療の結果を分析し、どのような患者さんに、どの治療がより合っているのかを調べ、今後の治療選びに役立つ基準を作ることを目指します。

5. 研究方法

この研究では、新たに診療や検査を行うことはありません。

すでに国立精神・神経医療研究センターや兵庫教育大学大学院などで行われた治療研究や臨床の記録を使います。

これらのデータはすべて、提供する機関で名前などの個人がわかる情報を消した「匿名化データ」にしてから、防衛医科大学校および国際電気通信技術研究所に提供されます。防衛医科大学校では、匿名化されたデータを統計的に分析し、治療によって症状がどのように変化するかを多角的に調べます。

これにより、治療の効果や作用のしくみの違いを明らかにし、今後の治療法の選択に役立てます。

6. 研究に用いる情報の種類

この研究では、すでに行われた治療や検査から得られた次のような情報を使います。

- PTSDの症状や気分を評価する心理検査・質問票（例：ストレス反応や抑うつ の程度など）
- 治療の経過（実施回数、途中で中止したかどうか、副作用など）
- 脳の働きを調べる画像検査（MRIなど、実施されている場合）
- 年齢、性別、トラウマの内容、病気の経過、家族の病歴などの背景情報これらの情報はすべて、すでに収集されたものであり、名前などの個人が特定できる情報は含まれていません。

個人が特定されることがないように、安全に管理された状態で防衛医科大学校に提供されま す。

7. 外部への情報の提供

情報は個人が特定できないよう氏名等を削除し、記録媒体または電子的配信により防衛医 科大学校へ提供します。また、同様の方法で、防衛医科大学校から国際電気通信基礎技術研 究所（ATR）に提供して解析を行います。

新たな対応表（復元情報）は、作成しません。

8. 研究組織

- | | |
|-------------------------|-------|
| • 防衛医科大学校 | 長峯 正典 |
| • 兵庫教育大学大学院 | 市井 雅哉 |
| • 国立精神・神経医療研究センター（NCNP） | 伊藤 正哉 |
| • 国際電気通信基礎技術研究所（ATR） | 千葉 俊周 |

9. 研究に関する情報公開の方法

この研究の成果は、学会や研究会、学術論文などで発表する予定です。発表の際には、 個人が特定されることがないように、すべての情報を統計的に処理し、個人を識別できな い形で公表します。

10. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

当施設では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において 企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は防衛医科大学校の研究費および公的な競争的研究資金（科研費など）で す。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわ れる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相 反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係について は、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受 けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等にな ります。あなたには帰属しません。

11. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研 究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方 にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合でも患者さんに不利益が生じ ることはありません。ご了承いただけない場合、得られた情報は全て破棄します。ただし、

ご了承いただけない旨の意思表示があった時点で、すでに個人が特定できないよう氏名等を削除したデータが提供されていた場合は、特定の個人データを識別して除外することはできません。研究への利用を拒否することを決められた場合、2026年4月30日までに下記の連絡先までお申出ください。

当施設における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
担当者の所属・氏名：兵庫教育大学大学院 発達心理臨床研究センター 市井 雅哉
住所：〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1 連絡先：080-9459-8132
msyichii※emdr.jp（「※」を「@」に変更ください。）

当施設の研究責任者：兵庫教育大学大学院 発達心理臨床研究センター 市井 雅哉

研究代表者：防衛医科大学校 防衛医学研究センター 行動科学研究部門 教授 長峯正典